

インバウンドの最先端
地域・ニセコで学ぶ！

ニセコの観光ビジネスの
現場を視察できます！

地域インバウンド対応のための観光ビジネス人材育成講座

本講座は、文部科学省「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の一環として行われる社会人向け講座（学生も参加可）です。インバウンドの最先端地域であるニセコをフィールドに、現地関係者による講義や最先端ビジネス現場の視察を通して、未来に向けたより高次のインバウンドビジネス創出の可能性を探ります！

【主な対象者】

※講座を修了した方には、「修了証」を発行します。

- 1 インバウンドビジネスに関心のある方
- 2 国際リゾート地であるニセコの取り組みに関心のある方
- 3 今後ニセコとの連携をお考えの方

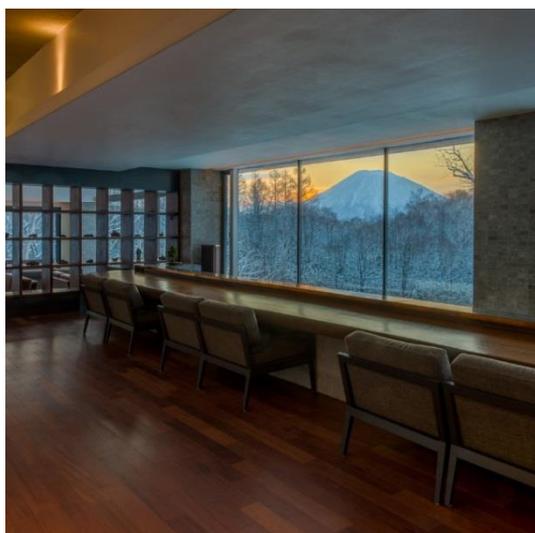
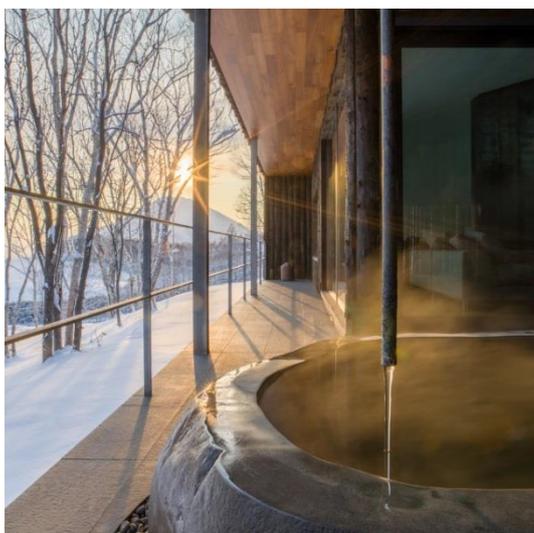
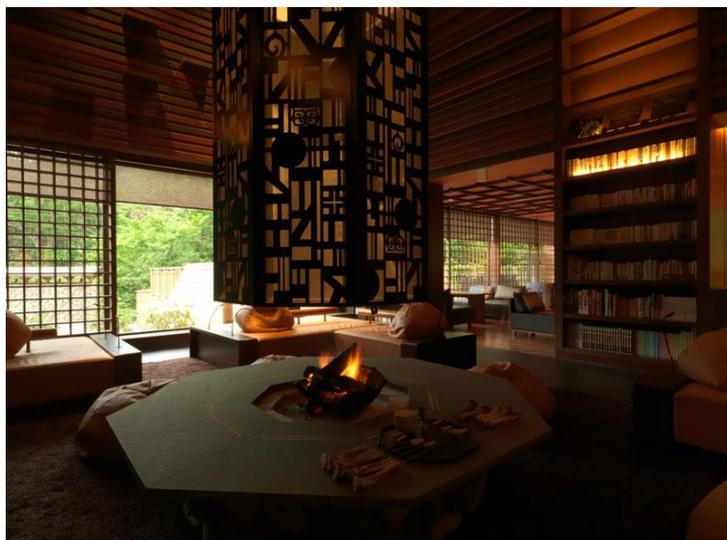
開催日 2017年 **11/23** (木・祝) ~ **11/24** (金)

ニセコ内会場現地集合・現地解散。最寄駅からの無料送迎あり。

申込締切日：11月10日（金）先着20名



「空の抄」2013年オープンの奥ニセコ昆布温泉の鶴雅別荘。空のぬくもり・和の美意識をコンセプトに、やすらぎの空間を演出。



「坐忘林」2015年、ニセコにオープン（オーナーはイギリス人）。広大な原生林の中に溶けこむように平屋が建ち、客室はわずか15室。それぞれの客室に源泉掛け流しの内風呂と露天風呂があり、絶景を眺めながら体を休めることができる。



日本でもっともインバウンド観光産業が進む地域として知られるニセコ。毎年12～3月のゲレンデがハイシーズンとなる期間は、2,000人近くの外国人が働く。



「SOMOZA」2017年オープン。「坐忘林」を手掛けたショウヤ・グリッグ氏による和を意識した美術文化発信地。

スケジュール

1日目・2017（平成29）年11月23日（木・祝）

13:00 集合 hirafu188 北海道虻田郡倶知安町字山田 188-9 <http://www.hirafu188.com/>

13:15～13:30 開会挨拶、講座趣旨説明・地域インバウンドのミッション

横浜商科大学商学部観光マネジメント学科教授 穴戸学

13:30～15:00 講座「ニセコの概要」

講師：大迫理沙氏（hirafu188 Administrative Manager）

15:00～17:00 講座・ワークショップ

「ニセコ地域における新たな投資を学び、自地域との関連性・発展性を考える」

講師：ジョン・グライナー氏（ユキカムイ株式会社 社長兼 CEO）

ハドソンソフトエグゼクティブ・ディレクタ（1988年2月～2003年10月）、ハドソン・エンタテインメント社長兼 CEO（2003年11月～2008年5月）、モンキーポー・ゲームズ社長兼 CEO（2009年6月～2012年1月）、ミレニアルメディアマネージングディレクター（2012年2月～2014年12月）。現在は岩内山麓にオールシーズン対応のシーサイドリゾートを開発することを目的としたユキカムイの社長兼 CEO（2015年1月～現在）。

コーディネーター：遠藤正氏（北海道大学観光学研究センター客員准教授）

18:30～19:45 夕食・懇親会 会場：CHALET IVY（シャレーアイビー）（受講生の宿泊施設）
ナイトセッション会場へ移動（徒歩ですぐの距離です）

20:00～21:00 ナイトセッション 会場：hirafu188

（コーディネーター：千葉里美氏（札幌国際大学観光学部観光ビジネス学科 准教授））

－事業者側から見たニセコ

講師：大迫理沙氏（hirafu188 Administrative Manager）

講師：岩佐信氏（CHALET IVY ホテルマネージャー）

－札幌から見たニセコ MICE との連携の可能性

講師：荻麻里子氏（公益財団法人札幌国際プラザ 企画事業部 コンベンションビューロー担当部長）

講師：藤田靖氏（NPO法人コンベンション札幌ネットワーク 理事長）

2日目・2017（平成29）年11月24日（金）

9:00 モーニングセッション 会場：hirafu188

コーディネーター：遠藤正氏（北海道大学観光学研究センター客員准教授）

10:30 施設見学「主体の異なるインバウンド対応施設の比較」 講師：松橋京子氏

東京新聞ショッパー社編集長を経て、1999年から北海道と東京の二地域居住を開始。株式会社アンビックス（本社＝札幌市）企画室長として市町村温泉事業や予感ホテル再生事業に関わる。2007年雑誌「BYWAY後志」を編集長として創刊、2008年「みなかみ高原リゾート200」（旧水上プリンスホテルでシティグループの投資物件）総支配人として付加価値を上げるリノベーションで売却に寄与。元ニセコリゾート観光協会代表取締役、定山溪鶴雅リゾートスバ森の副執行役員支配人、札幌商工会議所観光部会副分科会長を経て、コンサルタントとしてニセコ花園坐忘林開業準備室長、女将としてオンリーワンの宿を立ち上げ、ミシュランガイド5星獲得に寄与、JR東日本豪華列車「四季島」の宿泊先などPR、マーケティングに貢献、現在は内閣府地域活性化伝道師として、観光やホテル、旅館再生、地域活性化のセミナーやアドバイスを全国で行うほか、道外企業の道内での新しいプロジェクトのサポートも進行中。

「^{もくのしょう}鶴雅グループ」ニセコ昆布温泉鶴雅別荘 **空の抄**」（国内事業者による施設の事例）

「^{ソモザ}SOMOZA」（ランチ）、「^{ざぼうりん}坐忘林」（海外事業者による施設の事例）

13:30 解散

■受講にかかる基本費用 **13,287円（すべて当日現地でのお支払となります）**

【受講料内訳】

★CHALET IVY（シャレーアイビー）での経費（チェックアウト時に個人で支払い）

宿泊費 1人8,137円（朝食代込・税込）+入湯税150円

夕食・懇親会時食事代 3,000円（税込） ※飲み物代は別途かかります（個人注文）

※他の受講生との相部屋になります。

シングルルームをご希望の場合は申込時にお申し出ください（別料金になります）。

※CHALET IVY（シャレーアイビー）宿泊込の講座プランになっております。

※CHALET IVY（シャレーアイビー）URL <http://www.chaletivy.com/ja/>

★SOMOZAでのランチ代2,000円（税込）

■申込締切 **2017（平成29）年11月10日（金）** ■定員 **20名**

■申込方法 web 申込フォーム goo.gl/Tq4gnQ にアクセスし、お申し込みください。

もしくは、メールの件名を「ニセコ観光ビジネス講座申し込み」とし、以下の情報を記載のうえ、

2017-csj-g@shodai.ac.jp までメールでお申し込みください。

(1) 氏名 (2) フリガナ (3) 所属 (4) メールアドレス (5) 電話番号

(6) 1日目（11月23日）の俱知安駅からの移動手段（無料送迎バス / 自家用車 / その他）

(7) その他要望等（シングルルームを希望する場合、食物アレルギーがある場合は記載）

■ 無料送迎バスについて

1日目(23日)は、JR 倶知安駅(電車は10:52、12:10に到着)及び倶知安十字街(バス・ニセコ号停留所)バスは10:52、12:42に到着から会場である hirafu188 までの無料送迎バスを運行します。到着に合わせて10時台、12時台の2回運行します。受講申込時に合わせてお申しください。

2日目(24日)の講座終了後、希望される方は倶知安駅及び倶知安十字街まで無料送迎バスでお送りします(当日お申し出ください)。

■ 受講のご案内について

※受講に関する案内は、事務局からメールでご連絡します。

ドメイン指定をされている方は「2017-csj-g@shodai.ac.jp」よりメールが届くよう設定をお願いします。

連絡がない場合は、お手数ですが、お問い合わせください。

※記載頂いた情報は開催運営以外の目的では利用致しません。

※講座は申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

文科省委託事業「地域インバウンド対応のための観光ビジネスフロンティア人材育成事業」について

本事業は、地域におけるインバウンド観光分野のフロンティアビジネス(新機軸の観光ビジネス)に関する知識と技能を有し、新たな観光価値を創造し、地域の発展に寄与する人材を育成すること、学修者の当該地における観光業への就労・起業、地域間ネットワーク構築を目指す事業で、eラーニングや地域での講座プログラムの開発と実施等を行っています。

<構成機関>

北海道教育大学函館校、札幌国際大学、札幌商工会議所附属専門学校、公益財団法人札幌国際プラザ、北洋銀行、一般社団法人倶知安観光協会、長崎国際大学、ホスピタリティツーリズム専門学校、日本政府観光局(JNTO)、公益財団法人横浜観光コンベンションビューロー、川崎産業観光振興協議会、公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー、近畿日本ツーリスト(株)、(株)プリンスホテル、(株)JTB 総合研究所、全国高等学校観光教育研究協議会、日本コンベンションサービス(株)、横浜商科大学(本事業代表校)

その他事業委員として、多数の公的機関、企業、教育機関の皆様にご協力いただいております。

ニセコ講座の後援、企画・協力、運営

後 援： 一般社団法人倶知安観光協会、公益財団法人札幌国際プラザ
企画・協力： 北海道大学観光学研究センター、札幌国際大学
運 営： 本事業代表校・横浜商科大学

昨年度は札幌テレビ塔で講座を開催し、大変好評でした!

お問い合わせ(本事業 代表校)

横浜商科大学

〒230-8577 横浜市鶴見区東寺尾 4-11-1

TEL (045) 583-9057

FAX (045) 584-4870

E-mail 2017-csj-g@shodai.ac.jp

URL <http://www.shodai.ac.jp/>

